

合 意 書

発注者：●●（以下「甲」という。）と受注者：●●（以下「乙」という。）は、国際情勢の緊迫化、戦争・武力紛争、経済制裁、輸送経路の遮断・封鎖、原油その他エネルギー価格又は主要建設資材価格の変動その他の経済事情の変化等により、日本国への資材等の輸入の減少・遅延又は建設工事に要する費用の増加等が生じ又は生じるおそれがある現下の情勢（以下「本性情勢」という。）に鑑み、甲乙間の●年●月●日付工事請負契約（以下「本件契約」という。）について、以下のとおり合意する。

第1条（白紙解除）

- 1 甲と乙は、本件契約を、本日をもって解約することに合意する。
- 2 甲と乙は、前項の解約は、次の各号のいずれか又は複数が生じたことに起因するものであり、甲または乙のいずれの責めに帰すべき事由によるものではないことを相互に確認する。
 - ① 本性情勢において、原油その他エネルギー価格、主要建設資材価格又は労務費が、公的統計その他合理的な指標に照らし、本件契約締結時から変動・増加したこと。
 - ② 本性情勢において、工事に必要な資材又は役務の調達が困難となり、又はその調達に要する価格・費用が変動・増加（資機材の仕様、調達先及び調達方法の変更並びに役務提供者の変更、提供方法の変更及び追加料金等の発生を含むが、これらに限られない）したこと。
 - ③ 前各号に準ずる事由であって、本件契約を当初の内容のまま維持することが信義則に照らして不相当となる程度にまで、本件契約に基づく工事に関する価格・費用又は工期に影響を及ぼしたこと。

第2条（返還義務）

- 1 甲と乙は、本件契約●条●項に基づき、甲が乙に対して支払った前払金●円について、乙に返還義務があることを認める。
- 2 乙は、甲に対し、前項の金員●円を、令和●年●月●日までに、甲の指定する下記口座に振り込む方法により支払う。振込手数料は乙の負担とする。

（振込口座）

金融機関名	●銀行（●）
支店名	●支店（●）
口座種別	●
口座番号	●
口座名義	●

第3条（秘密条項）

甲と乙は、本合意書の内容及び本合意書成立に至る経緯を秘密として保持し、正当な理由なく第三者に口外しないことを相互に約する。

第4条（清算条項）

甲と乙は、甲と乙の間には、本合意書に定めるもののほか、何らの債権債務がないことを相互に確認する。

以上

以上、本合意の成立を証するため、本書2通を作成し、甲乙各自署名または記名押印の上、1通ずつ所持する。

年 月 日

甲（発注者）住所

氏名

乙（受注者）住所

氏名